



武蔵野農業ふれあい公園内に移築された、武蔵野の原風景を残す長屋門



機関誌「農業ふれあい村だより」



武蔵野農業ふれあい公園の全景

■ プロジェクト実現のプロセス

武蔵野農業ふれあい公園(面積約4650㎡)は、市が周辺の景観や環境との調和を重視し、市民が農とのふれあいを楽しみ、さらに地域のコミュニティが図られることを目的として農業型に整備した公園で、平成19年3月にオープンした。

この地区は、都市計画公園(面積約6.6ha、昭和16年都市計画決定)の予定地内にあり、平成15・16年度に市が農家から生産緑地を取得したものである。公園を計画するにあたっては、市が市民の意向に沿った特色ある公園にするために、市民参加によるワークショップを開催し、そのなかで具体的な検討がされた。

ワークショップによる公園づくりのあゆみ

- H17.12(第1回)公募市民等によるワークショップの開始
- H18.1(第2回)土支田農業公園(練馬区)へ視察
- H18.2(第3回)グループ討議
- H18.3~9(第4~9回)配置計画検討、導入施設の検討
- H18.11 第1期公園工事開始
- H18.11~19.3(第10~13回)農業イベント企画、種まき、雑草取り、開園後のソフト面の検討
- H19.3 オープニング(イベント開催)
- H19.3~ワークショップ参加者が中心となって運営委員会を設置し、市民協働による管理

■ 市民協働による管理・運営

この公園の管理運営は、計画段階から携わった市民約20人を中心に、開園と同時に発足した「武蔵野農業ふれあい村」(市民ボランティア団体)が担っている。この市民ボランティア団体(平成20年度NPO法人認可予定)は、公募による市民

を加えながら、今では約50人の会員で組織されており、農耕に関する基礎知識や作付け野菜の栽培など、農業の専門家とともに畑での実践作業と公園全体の日常管理を行っている。平成20年度からは市と基本協定を締結し、事業委託により、①農業体験教室の運営管理、②農業振興に関するイベント、PR及び啓発活動、③公園の維持管理の3項目を中心に活動を展開している。

農業体験教室(一般市民向け)

農業体験教室は、畑部1区画約400㎡を一般市民向け専用区画として公募。土作りから収穫まで、一定のカリキュラムのもと同一の作物を栽培し、初心者も楽しく学びながら収穫体験をすることができる。

講座期間：4月~1月(10ヵ月)

内容：毎週1回以上の来園と農業講習会への参加

費用：①使用料5000円/年、②材料費2500円(種・苗など)

利用時間：日の出から日没まで

農機具の利用時間9:00~17:00

農業指導者：大学の先生2人、農業者1人の計3人を講師に招き指導。将来は、市民ボランティア団体などから農業指導員となるよう人材育成を図っている。

イベントPR活動

【夏まつり】①にいだんご(すいとん)を無料配布、②農の歴史に関する講和、七夕祭りなど。

【収穫祭】①焼き芋、②芋煮鍋、③収穫体験として畑の見学ツアーと収穫体験。

公園の維持管理

〈畑部の管理〉

4区画、1600㎡のうち1区画400㎡は、「農業体験教室」で使用。残り3区画、1200㎡について、市民ボランティアが作物の栽培など、農風景の維持および日常管理を行っている。

〈公園部の管理〉

芝生広場・田んぼの手入れ、植栽の修景および活動拠点である長屋門(管理室・実習室)の管理運営。

■ 補助金など

この本事業では、緑地環境総合支援事業(国土交通省：用地取得費国(3分の1)、施設整備費国(2分の1)、国庫補助総額約3.8億)の国庫補助を受けている。

プロジェクト概要

所在地	武蔵野市関前5-19	事業者	武蔵野市
土地面積	4650.19㎡	連絡先	武蔵野市都市整備部緑地環境センター ☎0422-60-1864
用途地域	第一種低層住居専用地域	その他	市民団体「武蔵野農業ふれあい村」☎080-1279-5920
土地利用	都市計画公園	URL	http://paphio.blog97.fc2.com/
国庫補助	緑地環境総合支援事業(国土交通省)		
事業期間	平成15年度~19年度		